

## 令和5年度第1回亀岡市環境審議会議事録

開催日時	令和6年1月31日(水) 午後1時30分～2時45分
開催場所	亀岡市役所2階202・203会議室
出席者	高澤会長、黒田(幹男)委員、永田委員、田部委員、櫻井委員、湯浅委員、俣野委員、稲村委員、中西委員、山内幹事、松本幹事、信部幹事 (事務局3名)
欠席者	伊藤委員、黒田(洋二郎)委員、田中幹事
傍聴者数	3名
次第	審議事項 (1)亀岡市地域再エネ導入ゾーニング事業について 報告事項 (1)「かめおか脱炭素未来プラン」進行管理に係る指標案について (2)第3次亀岡市環境基本計画の取組状況について (3)亀岡市環境白書について

### 1 会長挨拶

### 2 審議事項

#### (1)亀岡市地域再エネ導入ゾーニング事業について

≪資料に沿って事務局から説明≫

#### 委員

脱炭素化が喫緊の課題ということは理解しているが、亀岡市の河川や山間部には希少な動植物が生育している。ゾーニングにより、生物多様性が損われないよう、きめ細やかに進めていって欲しい。

#### 事務局

亀岡市にはアユモドキやオオサンショウウオなどの生き物が生息しているほか、希少な植物が存在している。ゾーニングについては、保全すべきエリアを抽出し、さらに調整が必要なエリ

アを抽出していくこととなる。ご指摘のような自然環境の保全に関する事項も反映させながら進めていきたい。

## 委員

関係者へのヒアリング結果に記載されているため池ソーラー導入にあたっての「技術革新」と「管理状況」は具体的に何を指しているのか。また、建築士の項目などに「補助金」と記載があるが、太陽光パネルに関する補助金について具体的に教えて欲しい。

## 事務局

現在、ため池に太陽光パネルを設置する際にはフロートと呼ばれるものを設置し、その上に並べるためコストがかかる。例えば、ペロブスカイト太陽電池など再生可能エネルギー分野の技術は目まぐるしく変化しており、技術革新により新たな設置方法等が出てくる可能性も考えられる。

管理状況については、ため池の中には継続して利用されるものもあれば廃止となるものもあると考えられ、将来を見据えれば廃止後に設置するといった利活用の方法もあげられる。

補助金の関係であるが、亀岡市は現在も太陽光パネルと蓄電池の同時設置に対する補助金を設けている。

## 会長

関係者へのヒアリング結果について、これは関係者と意見交換した結果を記載しているのか。

## 事務局

意見交換の内容を要約したかたちで記載している。

## 委員

現状のゾーニングマップが分かりづらいため、町界や主だった河川などを追加できないか。また、太陽光発電及び木質バイオマスの現状について教えて欲しい。

## 事務局

太陽光発電について、FIT 制度を利用している件数としては10kW 以上が466件、住宅用の10kW 未満が2,783件となっている(かめおか脱炭素未来プランより)。

ゾーニングマップについては、見やすくなるよう工夫させていただきたい。

バイオマスについては、年谷浄化センターで消化ガス発電の実績がある。

## 会長

2030年目標達成に向けて公共施設の占める割合はどのくらいか。

## 事務局

2030年の温室効果ガス排出量の削減目標は亀岡市の独自施策分で40千 t-CO<sub>2</sub> となっ

ている。市の公共施設すべてがカーボンニュートラルを達成した場合、全体の4分の1程度を占めると考えられる。ただ、公共施設それぞれの建築年や屋根の耐荷重等の事情を加味する必要がある。

また、2030年再生可能エネルギーの導入目標量8.8万 MWh/年については、単純計算となるが、亀岡市域の約4万戸の住宅のうち1万3,000戸以上に設置する必要がある(6kWの太陽光パネルを想定)。

## 会長

住宅だけに絞ると3軒に1軒程度、太陽光パネルの設置が必要ということか。

## 事務局

住宅だけで目標達成を目指す場合はそうなるが、建物といっても倉庫や工場などさまざまな種類がある。あくまで参考数値となる。

## 委員

市民に理解を得るためには、なぜ必要かという部分と費用面の両面で手を打つ必要がある。防災の意味も含め、公共施設の再生可能エネルギーを集めて大規模な避難所等に優先的に電力を送るなどの手法を検討してはどうか。

## 事務局

災害時を考えると、分散型電源で自己消費できるモデルが理想となる。個人の方に設置を促す施策も含め、検討していきたい。

## 委員

市街化区域に着目されているが、調整区域は対象外でよいのか。

## 事務局

事例として市街化区域を促進区域としたパターンを示しているが、縛られることなく来年度以降、議論を進めていきたい。

## 会長

ゾーニングマップで浮かんだ促進エリアを諦めて市街化区域を重点的に進めるのは時期尚早ではないか。

## 事務局

諦めるわけではなく、引き続き事業採算性やポテンシャル量なども踏まえ、調整エリア・促進エリアともに検討を進めていきたいと考えている。

### 3 報告事項

#### (1)「かめおか脱炭素未来プラン」進行管理に係る指標案について

《資料に沿って事務局から説明》

#### (2)第3次亀岡市環境基本計画の取組状況について

《資料に沿って事務局から説明》

#### (3)亀岡市環境白書について

《資料に沿って事務局から説明》

#### 会長

第3次亀岡市環境基本計画の取組状況報告書もネットで公開するのか。

#### 事務局

亀岡市環境審議会の会議資料として公開される。

#### 会長

第3次亀岡市環境基本計画のページでも公開した方が分かりやすい。

#### 事務局

そうさせていただきます。

### 4 閉会

以上